

視聴覚教育

NO. 352

発行日

21.5.14

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

視聴覚用語

『ファイナライズ』

DVD-Rなどの追記型光ディスクに記録したデータを、他のプレーヤーでも再生できるようにするための最終処理のこと。ファイナライズ後は、空き容量が残っていても、一切の書き込みができなくなる。

|| 視聴覚教育あれこれ ||

平成二十一年度 学習情報部方針決定！

研究主題

ネットワーク社会における豊かな学びとメディア利用のあり方を追究しよう

研究の重点

① 岡崎市教育ネットワークの利用環境整備と活用法の研究

② 校内ローカルエリアネットワークの利用環境整備と活用法の研究

③ 視聴覚機器や各種メディア、コンピュータの効果的な活用法の研究

④ 岡崎市自作ビデオの活用促進と自作視聴覚教材・デジタルコンテンツの制作

⑤ パソコン教室の管理・運営方法の工夫

⑥ 学校教育放送・教育チャンネル、校内放送の活用法の研究

⑦ 情報モラルの育成や情報のセキュリティ意識の向上のための工夫

主任会の活動

〔広報部会〕：授業実践や研究集積、研究誌や

月報の発行、学習情報部HP管理等

〔研修部会〕：各種研修会・講習会の計画・実施や各種視聴覚教材や教育メディアの研究

機器調査、パソコン利用Q&Aの制作等

〔自作部会〕：自作教材ビデオ・自作マルチメディア教材の制作とその活用事例研究等

〔教科部会〕：「視聴覚教材・機器利用の手引き」発行、ソフトの利用促進と活用法の研究、情報モラル育成カリキュラムの制作等

学習情報部の新しい一歩

現職研修委員会学習情報部長 山田賛平

平成21年度が陣容新たにスタートしました。今年度の重点目標は次の二点です。

- ・視聴覚教育総合全国大会・放送教育研究会全国大会合同大会を成功に導く。
- ・ICT（情報コミュニケーション技術）の幅広い活用を進める。

ICT（情報コミュニケーション技術）の幅広い活用を進める。

全国大会開催のねらいは、メディア利用研究の成果を提示して多くの評価をいただき、よりよい活用のあり方を探っていく絶好の機会にすることにあります。多くの関心を集めている最新のICT環境、デジタル化に伴う機器が教育活動にどのように貢献できるのかを提案して、この地の活発な教育研究活動推進の一翼を担うことができたらいと考えています。ぜひ、多くの方々に参観をいただきたいと思います。

全国大会を一つの大きなきっかけとしながら、年間を通じて学習情報部が取り組むことは、ICTの幅広い活用促進です。さらにたくさんの子供たちや教職員の方々が、日常のかつ活発に利用している姿を増やすことが目標です。

学習情報部は、新しい機器が出現するたびに活動の幅を広げてきました。さらに、パソコン及びネットワークの猛烈な進展、放送のデジタル化が入ってきました。教育利用と学校事務の両面において学習情報部の活動が求められています。

先輩各位、部員の先生方の格別なご努力でその責を果たしてきたと考えています。しかし、活動があまりにも多岐にわたり、それぞれの成果が十分に行き渡らないことが生じてはいないか、進めようとしている機器利用が学習活動推進に真に適切であったかどうか、ここで一度根本的に振り返ってみることが大切だと考えます。この思いに立って方策を探り、実行に移したいというのが、「ICTの幅広い活用を図る」ための一番の意図です。

拡大する通信環境とデジタル化の波の中、全国大会の開催を進めながら、活動内容の大改訂をしていくという大変な年度となりますが、各部員の方々の格別なご尽力を賜りたく存じます。関係各位のご指導・ご支援を得ながら、この一年を充実したものにしていきたいと思えます。

平成二十一年度組織

視聴覚ライブラリー

所長（教育長）

江村 力

副所長

宮田 典彦

専門主事

本間 茂夫

職員

服部 光晴 西尾 友希 太田ますみ

学習情報部組織

部長

山田 賛平（額田中長）

江坂 良夫（岩津小長）

大岡 久芳（羽根小長）

近藤 博之（藤川小長）

担当指導主事

小田 哲也（教育委員会学校指導課）

指導員

島田 繁直（根石小） 森 竜師（羽根小）

世話係

佐渡 英彰（連尺小） 坂田 健一（岡崎小）

寛 哲也（南中） 岡 秀之（六北中）

各部世話係

〔広報〕 杉山 康子（生平小）

神野 裕美（六西小） 佐渡 英彰（連尺小）

〔研修〕

内田 雅之（井田小） 寛 哲也（南中）

川本 祐二（美川中） 笠間 大樹（額田中）

〔自作〕 坂田 健一（岡崎小）

近藤 雄一（東海中） 河合 泰宏（矢北中）

〔教科〕 岡 秀之（六北中）

山口 秀樹（根石小） 村田 貴志（甲山中）

レッツ・トライ

研究会

・放送教育研究会全国大会および視聴覚教育総

合全国大会（合同開催）

平成21年10月27日（火）・28日（水）

羽根小・甲山中・市民会館等

この他、本年度も、多くの大会・研究会が予定されています。是非ご参加ください。

各種大会・研究会の案内

《研究論文》

・ インターネット活用教育実践

コンクール

・ パナソニック教育研究賞

・ パナソニック教育研究助成

・ 東書教育賞

・ 上月情報教育研究助成

・ ちゅうでん教育振興助成

ちゅうでん教育大賞

・ 実践事例アイデア集（小学校）

県や市の教育論文をはじめ多くの応募機会があります。日頃の実践成果をまとめてみましょう。

《コンクール》

・ ふるさと岡崎メディアコンクール

・ NHK杯中学校放送コンテスト愛

知県大会

・ 全国子供科学映像祭 など

児童生徒の作品コンクールも多数あ

ります。参加してみませんか。



ライブライリーだよ

新年度がスタートしました。ライブライリーでは、機器・教材の活用について、社会教育・学校教育関係者のサポートをしています。ご相談・ご利用をお願いいたします。

●教材・機材予約システム

教材・機材の貸出予約について、平成18年4月1日から、電話や窓口での受付に加えて、インターネットからの予約及び検索が出来るようになっていきます。ご利用ください。URLは、<http://www.oavl.jp/>です。

●ビデオ教材のダビングサービス

ライブライリーでは、制作した自作ビデオ番組やビデオ映像ラッシュ、行事記録等のダビングを行ってまいります。お手持ちのビデオテープの背に「番組名」と「学校名」を記入の上、送付してください。原則として、1番組1本のテープでお願いいたします。（テープの種類は問いません）また、ご希望があれば、DVDへのダビングも行いますので、ご相談ください。

●「視聴覚教材・機器利用の手引き」第14集

視聴覚機器の利用の仕方や活用の実践事例、市自作ビデオ教材の活用事例と制作の歩みなど、大変参考になります。市内全教職員に配布しました。ご利用ください。

